



株主の皆様へ

第70期

報告書

2024.4.1 ▶ 2025.3.31

# グループ経営理念

山一電機グループは、人・企業・社会・地球とのより良い結びつきを柔軟な技術力と発想力をもって意欲的に創造する「もっとしなやかにBetter Connection」をコーポレートスローガンに、お客様の価値創出に貢献します。

## 1 人の尊重

人を育て、人を活かし、会社の発展と個人の幸せの共有を目指します。

## 2 企業価値の最大化

株主をはじめとしたステークホルダーの要請に応え、適正利潤を追求し、企業価値の最大化を目指します。

## 3 企業品質の向上

信頼の最大の基盤である優れた製品品質と企業品質を提供することによって、顧客の満足を図ります。

## 4 技術立社への挑戦

開発型企業として、たゆまず技術の創造と革新に挑戦し、半歩先をゆく技術を提供します。

## 5 社会的役割の達成

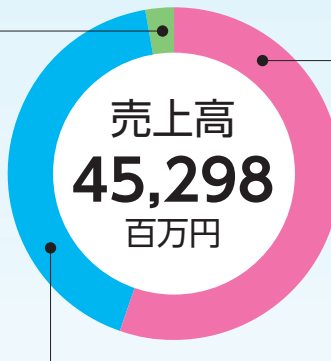
常に社会との調和を図り、社会から信頼される企業であり続けます。

### セグメント別売上高構成比と主要な事業内容 (2025年3月31日時点)

#### ● 光関連事業

2.7%

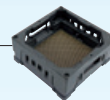
RGBフィルタ、UV/IRカットフィルタ、ダイクロイックフィルタ・ミラー、蛍光ダイクロイックフィルタ、ショート/ロングパスフィルタ、バンドパスフィルタ、半導体レーザー光源



#### ● テストソリューション事業

55.4%

バーンインソケット、テストソケット、半導体テスト関連サービス



#### ● コネクタソリューション事業

41.8%

高速伝送用コネクタ、カードコネクタ、インターフェースコネクタ、基板コネクタ、圧接コネクタ、実装用ICソケット、その他各種コネクタ、YFLEX®(高速伝送用ケーブル、実装基板)



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度(2024年4月1日から2025年3月31日までの)事業概況をご報告いたします。

代表取締役社長  
亀谷 淳一



当連結会計年度における世界経済は、米国では金融引き締めの継続によりインフレ率が減速し、個人消費を中心に景気は底堅く推移しましたが、中国では輸出は堅調に推移したものの、内需の低迷により景気停滞が継続しました。また、欧州では個人消費の回復が進んだものの製造業の低迷が継続しており、これに加えて長期化するウクライナ情勢や、中東情勢の緊迫化による地政学的リスクの高まり等により、先行きの見通しは不透明な状況が続いております。

当社グループが関連する電子部品市場においては、テストソリューション事業では、半導体市場の大幅な回復に伴いバーンインソケット、テストソケット共に需要が回復しました。コネクタソリューション事業では、データセンター投資の拡大により通信機器向け製品は順調な推移をしましたが、車載機器向け及び産業機器向け製品は需要が戻らない状況が続きました。

このような状況の下、当社グループは世界的な半導体需要の増加を見据え、半導体ソケットの安定した供給体制の強化及び、通信機器・車載機器・産業機器向けコネクタなど多様化する顧客ニーズに迅速かつ効率的に対応するため上げた佐倉事業所第2棟及びフィリピン第3工場は順調に稼働しており、更なる生産性改善並びに品質改善の取り組みを継続しております。

その結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高45,298百万円(前年同期比24.4%増)、営業利益8,225百万円(前年同期比180.4%増)、経常利益7,689百万円(前年同期比163.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益5,240百万円(前年同期比154.4%増)となりました。

2026年3月期の世界経済は、引き続き緩やかな成長を見込むものの、長期化しているウクライナ情勢や、中東情勢の緊迫化による地政学的リスクに、米国関税政策による新たなリスクが加わり、景気の先行きにより不透明さが増しております。

当社グループを取り巻く市場環境につきましては、主力の半導体市場では品種によって回復度合いに差はあるものの、市場全体では中長期的に市場拡

大が進むと見込んでおります。

このような状況の下、当社グループは、テストソリューション事業におきまして、スマートフォンを含むモバイル機器向けテストソケットとメモリー分野でDRAM向けバーンインソケットは順調な推移を見込んでおり、ロジック分野では自動車ADAS向けが前年度下期比で堅調な推移を見込んでおります。また、メモリー分野でNAND向け、ロジック分野で自動車MCU向けバーンインソケットは回復に時間を要すると見込んでおります。コネクタソリューション事業におきましては、通信機器市場ではAIを含むデータセンターへの投資が活発化しサーバー及び周辺機器の需要の拡大を見込んでおりますが、車載機器市場では世界的な需要低迷やEV車の減速による生産台数への影響と、産業機器市場では主力の欧州市場での在庫調整の更なる長期化が懸念されます。

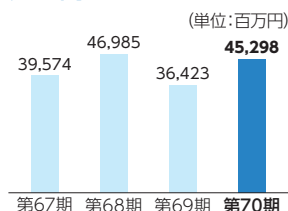
当社グループは、第四次中期経営計画(2024年3月期～2026年3月期)の最終年度となる2026年3月期は、売上高500億円、営業利益100億円を超えることを目指すと公表し、目標達成のために設備投資をはじめ各種施策を進めております。しかしながら、現時点において当社グループの関連する各市場の環境等を勘案した結果、2026年3月期の通期連結業績の見通しにつきましては、売上高47,400百万円(前年同期比4.6%増)、営業利益8,500百万円(前年同期比3.3%増)、経常利益7,900百万円(前年同期比2.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益5,500百万円(前年同期比4.9%増)とし、全社にて増収・増益を計画しております。

なお、米国の関税措置による当社グループの事業及び業績への影響は、発表日時点にて直接影響が見込まれる部分は業績予想に織り込んでおります。また、見通しの前提となる為替レートは、1米ドル＝140.00円、1ユーロ＝155.00円としております。

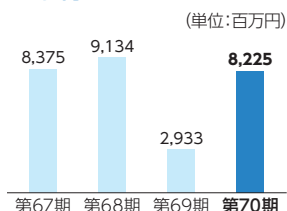
株主の皆様におかれましては、今後ともますますのご支援とご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

## 連結業績ハイライト

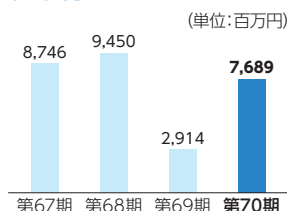
### 売上高



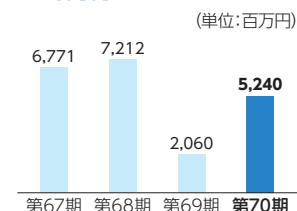
### 営業利益



### 経常利益



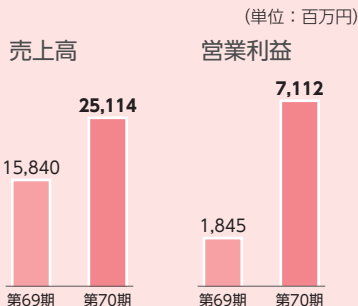
### 親会社株主に帰属する当期純利益



## テストソリューション事業

バーンインソケット、テストソケット、半導体テスト関連サービス

売上高構成比  
**55.4%**



### 超高性能ロジック半導体向けバーンインソケットの拡充

データセンター向けAI用途や関連分野における半導体需要が更に高まっております。これらの半導体は処理能力が高く、消費電力と発熱量も大きく、またパッケージは大型化と多ピン化が進んでおります。当社ではこうした超高性能半導体に対応可能なソケットのラインアップ拡充を継続的に進めております。当社は、長年培ってきたソケットの設計・開発・製造技術を活かし、高強度・高操作性・優れた放熱性能を揃えた製品を提供する事で、これからもお客様のニーズに的確に応える最適なテストソリューションを提案してまいります。

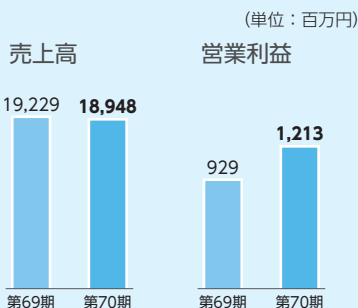


大型、超多ピン対応バーンインソケット

## コネクタソリューション事業

高速伝送用コネクタ、実装用ICソケット、YFLEX® (高速伝送用ケーブル)、等

売上高構成比  
**41.8%**



### 4.8Gbps対応超小型車載用カメラモジュールコネクタをラインアップ

自動車業界にて安全性を向上させるためドライバーモニタリングシステム (DMS) の開発が急速に進展しています。特に、AIや機械学習技術を駆使したドライバーの状態監視は、ヒューマンエラーによる事故を未然に防ぐために重要な役割を果たし、商用車市場においても導入が進んでいます。

当社は、このDMS向けに業界最小レベルの小型化を実現し且つ、高速伝送に対応した製品を新たにラインアップし市場投入を開始しました。

将来のDMSをはじめとする先進運転支援システムの搭載は、より一層加速し、高度なAI技術を用いた製品の進化が求められていきます。

今後も市場ニーズを先取りし、安全で快適な自動車市場の未来に貢献できる製品開発に取り組んでまいります。



プラグ側コネクタ

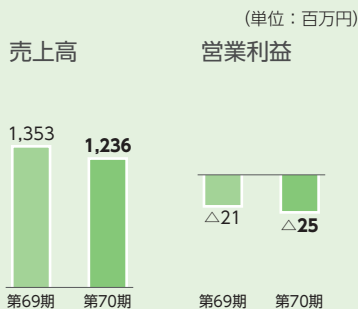
基板側コネクタ  
(ストレートタイプ)

基板側コネクタ  
(ライトアングルタイプ)

## 光関連事業

RGBフィルタ、蛍光ダイクロイックフィルタ、ショート/ロングパスフィルタ、半導体レーザ光源、等

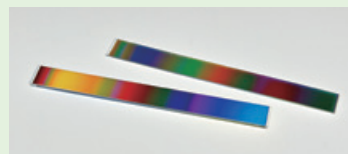
売上高構成比  
**2.7%**



### ハイパースペクトルカメラの性能向上に不可欠なリニアバリアブルフィルタを開発

ハイパースペクトルカメラは、光の波長ごとに映像を撮影するカメラで、金属、薬剤、プラスチックなど、外見ではその材質や成分がわからない物体を映像で識別でき、物質の分類や成分分析、異物の検出が必要な製薬工場や食品工場、アルミと鉄、PETとプラスチックの分別が必要なリサイクル施設などでの幅広い応用が期待されています。

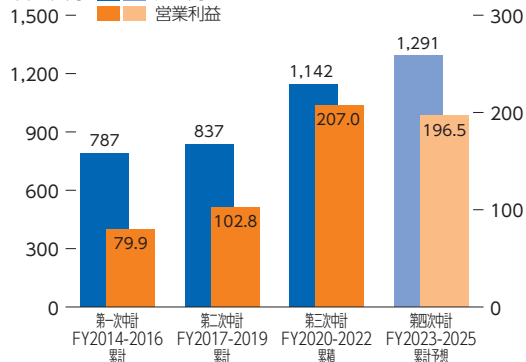
光関連部門ではハイパースペクトルカメラに入射するノイズを低減し、映像の解像度や検出精度を向上させるリニアバリアブルフィルタを開発し、カメラメーカーやイメージセンサーメーカーへのサンプル提供を開始しました。今後お客様のニーズを取り込み、アプリケーションの拡大と性能の向上に取り組んでまいります。



リニアバリアブルフィルタ

## 山一電機グループ 第四次中期経営計画の進捗状況

単位：億円 ■ 売上高 ■ 営業利益

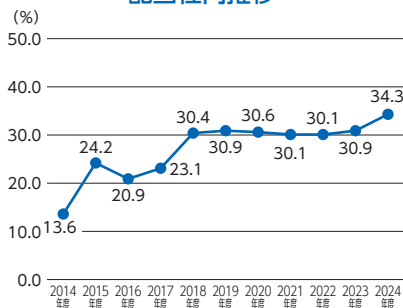


	第四次中期経営計画目標値	2023年度実績	2024年度実績	2025年度予想	第四次中計累計予想	達成率予想
連結売上高	1,390億円	364億円	452億円	474億円	1,291億円	92.9%
連結営業利益	250億円	29.3億円	82.2億円	85.0億円	196.5億円	78.6%
設備投資	140億円	55.6億円	37.0億円	37.1億円	129.8億円	92.7%
ROE	10%以上を目指す	5.5%	13.5%	10%以上を目指す	---	---
連結配当性向	30%以上を目指す	30.9%	34.3%	30.1%	---	---
総還元性向	40%以上を目指す	64.7%	81.6%	40%以上を目指す	---	---

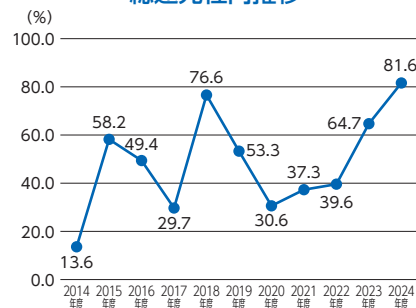
### ROE推移



### 配当性向推移



### 総還元性向推移



## 自己株式の取得について

取締役会決議内容			自己株式取得実績		
決議日	取得上限株式数	取得上限金額	取得株数	取得金額	取得期間(受渡日基準)
2024年5月14日	500,000株	1,000,000,000円	360,900株	999,979,900円	2024年7月3日~2024年10月31日
2025年2月5日	450,000株	1,000,000,000円	450,000株	962,417,300円	2025年2月10日~2025年3月14日
2025年3月21日	1,250,000株	2,500,000,000円	245,600株	561,463,400円	2025年3月26日
2024年度取得合計	2,200,000株	4,500,000,000円	1,056,500株	2,523,860,600円	----

2025年3月21日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得は、2025年4月16日の受渡しをもちまして終了いたしました。2025年度での取得分は、取得株式数 1,004,400株、取得金額 1,906,971,200円となります。



# 連結財務諸表

## ■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期 (2025年3月31日現在)	前期 (2024年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>32,112</b>	<b>29,715</b>
現金及び預金	12,981	13,104
受取手形及び売掛金	7,359	7,584
棚卸資産	7,437	6,880
その他	4,333	2,145
<b>固定資産</b>	<b>21,277</b>	<b>21,346</b>
有形固定資産	18,533	19,086
無形固定資産	993	517
投資その他の資産	1,750	1,742
<b>資産合計</b>	<b>53,389</b>	<b>51,062</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>10,443</b>	<b>9,231</b>
支払手形及び買掛金	2,240	2,454
短期借入金	3,251	2,799
その他	4,952	3,977
<b>固定負債</b>	<b>3,270</b>	<b>3,566</b>
長期借入金	370	410
その他	2,900	3,156
<b>負債合計</b>	<b>13,713</b>	<b>12,797</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>36,705</b>	<b>34,912</b>
資本金	10,084	10,084
資本剰余金	1,648	1,623
利益剰余金	29,566	25,297
自己株式	△4,593	△2,092
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>2,828</b>	<b>3,161</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>142</b>	<b>189</b>
<b>純資産合計</b>	<b>39,676</b>	<b>38,264</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>53,389</b>	<b>51,062</b>

## ■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	前期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>売上高</b>	<b>45,298</b>	<b>36,423</b>
売上原価	27,798	25,318
<b>売上総利益</b>	<b>17,500</b>	<b>11,105</b>
販売費及び一般管理費	9,275	8,171
<b>営業利益</b>	<b>8,225</b>	<b>2,933</b>
営業外収益	165	349
営業外費用	701	368
<b>経常利益</b>	<b>7,689</b>	<b>2,914</b>
特別利益	17	169
特別損失	355	-
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>7,350</b>	<b>3,084</b>
法人税、住民税及び事業税	2,270	710
法人税等調整額	△132	261
<b>当期純利益</b>	<b>5,212</b>	<b>2,112</b>
非支配株主に帰属する当期純利益	△28	52
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>5,240</b>	<b>2,060</b>

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	前期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,005	3,230
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,657	△4,221
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,493	△3,432
現金及び現金同等物に係る換算差額	△133	760
現金及び現金同等物の増減額	△277	△3,662
現金及び現金同等物の期首残高	13,072	16,734
現金及び現金同等物の期末残高	12,794	13,072

## ■ 会社の概要 (2025年3月31日現在)

商号	山一電機株式会社
所在地	東京都大田区南蒲田2丁目16番2号
設立	1956年11月
資本金	100億8,410万円
従業員数	390名 (連結2,061名)
主な事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. テストソリューション事業</li> <li>2. コネクタソリューション事業</li> <li>3. 光関連事業</li> </ol>

## ■ 株式の状況 (2025年3月31日現在)

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	21,829,775株
株主数	12,302名
単元株式数	100株
大株主	

株主名	持株数	持株比率
	株	%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,415,600	12.45
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,701,000	8.76
BNP PARIBAS LUXEMBOURG/2S/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	545,000	2.80
JPモルガン証券株式会社	487,616	2.51
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505025	459,300	2.36
日本生命保険相互会社	421,075	2.17
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	343,167	1.76
山一電機従業員持株会	286,011	1.47
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	283,000	1.45
NOMURA INTERNATIONAL PLC A/C JAPAN FLOW	244,023	1.25

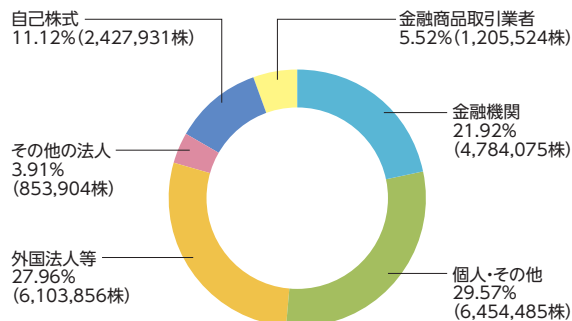
(注) 1. 当社は、自己株式を2,427,931株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率は自己株式2,427,931株を控除して計算しております。

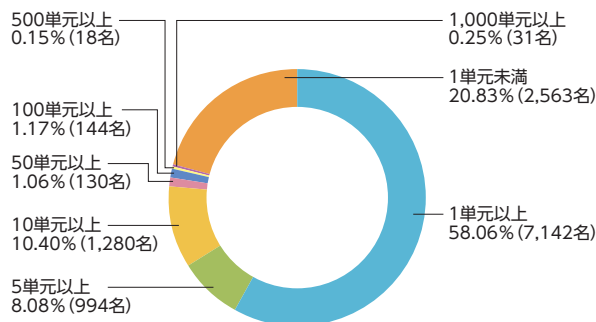
## ■ 役員 (2025年6月26日現在)

取締役会長	太田 佳孝	取締役 (常勤監査等委員)	柳澤 光一郎
代表取締役社長	亀谷 淳一	社外取締役 (監査等委員)	岡本 忍
取締役	土屋 武	社外取締役 (監査等委員)	村瀬 孝子
取締役	松田 一弘		
取締役	岸村 伸洋		
社外取締役	佐久間 陽一郎		
社外取締役	依田 稔久		
社外取締役	藤森 涼恵		

## ■ 所有者別株式数分布状況 (2025年3月31日現在)



## ■ 所有株数別株主数分布状況 (2025年3月31日現在)



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 (プライム市場：証券コード6941)
公告の方法	電子公告により行う (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

### 【お知らせ】

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

株主の皆様

声をお聞かせください

コエキク

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー

スマートフォンから  
カメラ機能でQRコードを読み取り

QRコードは株式会社デンソーウェアの登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。  
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 [✉ koekiku@pronexus.co.jp](mailto:koekiku@pronexus.co.jp)

## IRサイトのご案内

IR情報はホームページからもご覧になれます。

<https://www.yamaichi.co.jp/ir/>



今後も、「株主の皆様へ」の情報開示の内容を充実し、迅速に開示を行っていく所存です。

 山一電機株式会社

〒144-8581 東京都大田区南蒲田2丁目16番2号  
☎03-3734-0115 (株主様専用) ☎03-3734-0120  
ホームページアドレス <https://www.yamaichi.co.jp>

UD  
FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

ミックス  
紙 | 責任ある森林  
管理を支えています  
FSC® C013080

VEGETABLE  
OIL INK